

第一章◎ 般若心経のおどろくべき秘密 — 九

一休の頓智とコンピュータ — 一〇
知識を智慧に変換する — 一五
狂ったサル — 一六
霊性の場をひらく — 一八
経題が示すもの — 二二
波羅蜜多三つの秘密 — 二七
これまでの誤り — 三二
大乘仏教・小乗仏教という類別の基本的間違い — 三三
シヤカへの叛旗? 「蘊処界三科の法門」の否定 — 三四
「空」は仏教のエキス — 三六

「因縁」の発見 — 三九
むずかしい「空」の解説 — 四一
般若の空理 — 四七
四諦・十二因縁否定の謎 — 五一
爆弾的宣言 — 五五
見当違いの評価と解釈 — 五八

第二章◎ 般若心経の歴史と概説 — 六三

般若心経はいつ制作されたか? — 六五
仏教史年表を読む — 七一
アーガマからアビダルマへ — 七二
ブツダはアーガマでなにを説いたか — 七八

縁起の法……………七九

縁起の公式からみちびき出された二つの定理……………八四

諸行無常からの展開……………八七

「無我」の誤解……………九〇

死後の生存の問題……………九六

五蘊・十二処・十八界……………九八

如実に正しい智慧……………一〇四

無常・苦・無我の総括……………一〇五

簡單明瞭な四聖諦……………一一〇

四諦の教相……………一二七

十二支縁起の法門……………一二〇

十二支縁起順逆観……………一二四

どのように修観するか?……………一二七

混沌カオスとしての無明……………一四〇

瞑想へのいざない……………一四二

アビダルマはなにを説いたか……………一四三

有う為法と無む為法……………一四九

心の世界……………一五一

あなたはどこから来たのか?……………一五四

あなたは未来から来た!……………一五八

あなたには未来も過去もない……………一六三

諸行無常の二つの解釈……………一六六

無常の力はどこから来るか?……………一六八

業ごうかんえんぎ感縁起とアローヤ識……………一七一

第三の説登場……………一七五

「諸行無常」の三つのとらえかた……………一七九

「空」は根本仏教においても説かれていた……………一八二

「空」理論の完成と消滅……………一八三

般若心経の謎を解く — 一八九

七訳般若心経 — 一九〇
型やぶりの経典 — 一九二
心経のナゾと秘密を解く — 一九六
般若菩薩 Prajñā paramitā — 二〇〇
観自在と観世音 — 二〇二
観自在のルーツをさぐる — 二〇五
ヒンドゥー教から来た観自在 — 二二一
感得の仏と創造の仏 — 二二五
靈感でつくられた経典 — 二二七
瞑想と祈り — 二二九

観自在菩薩・深般若の秘密 — 二二三
教主は釈尊 — 二二五
空 — 二三〇
受想行識も亦是かくの如し — 二三七
「空」の種々相 — 二三八
諸法における個別相と普遍相 — 二四三
五蘊・十二処・十八界と無・縁起 — 二四八
十二因縁と四諦 — 二五二
どんでん返しの畏 — 二五五
得阿耨多羅三藐三菩提 — 二六一
明呪としての般若波羅蜜多 — 二六七
マントラの力 — 二七二

● 瞑想の般若心経 ————— 二八一

● 般若心経瞑想法 ————— 二九一

- はじめに ————— 二九一
- 瞑想に入る ————— 三〇三
- 香を点する ————— 三二五
- 1 大虚空観 ————— 三二八
- 2 月輪観 ————— 三三〇
- 3 月輪中・娑字 ————— 三三二
- 4 娑字変じて観自在となる ————— 三三四
- 5 月輪中_の字出現 ————— 三三六
- 6 _の字変じて般若波羅蜜多菩薩となる ————— 三三八
- 7 縁起流転水想観 ————— 三三〇
- 8 三角大円空観 ————— 三三二
- 9 三角智印 ————— 三三六
- 10 聖如意光菩薩 ————— 三三八
- 11 観自在菩薩大仏光観 ————— 三四〇
- おわりに ————— 三四二